

## ■審査員プロフィール

かわむら はるみち  
河村 晴道

観世流シテ方。1960年生まれ。河村晴夫の次男。父及び13世林喜右衛門に師事。4歳で仕舞「老松」にて初舞台。9歳で能「猩々」にて初シテを勤める。同志社大学文学部文化学科文化史学専攻卒業後、林喜右衛門に内弟子入門。1987年独立。これまでに「石橋」「猩々乱」「道成寺」「養老 水波之伝」「清経 恋之音取」「砧」などを披く。二星の会（河村晴道能の会）及び、京都・府中（東京）・熱海・徳島・広島で青嵐会を主宰。日本能楽会会員。京都観世会理事。同志社女子大学嘱託講師を勤める。

みかた しずか  
味方 玄

観世流シテ方。1966年生まれ。味方健の長男。父および片山幽雪に師事。アメリカ、ヨーロッパ公演、ドイツで能のワークショップを行なう。NHK 衛星放送「重低音スペシャル」、「錦の京」に出演。KBS 京都テレビ・能楽入門番組「能三昧」監修・演出・出演。2003年、新作能「待月」を制作し、脚本・演出・シテを務める。NHK 文化センター、同志社女子大学講師など多数。テアトル・ノウ、青嶂会を主宰。著書に『能へのいざない』（淡交社）など。2001年京都市芸術新人賞、2004年京都府文化奨励賞受賞。

よしなみ としあき  
吉浪 壽晃

1965年(昭和40) 能楽師 吉浪準一 の長男として誕生

国立東京芸術大学邦楽科 卒業

観世流準職分に合格独立 吉浪松順会を継承 主宰する

ワシントンジャパンウィーク能楽公演に参加

吉浪浪松順会を主宰

京都朝日カルチャーセンター講師